



自衛隊栃木地方協力本部

第7回 世代を超えた住民同士の交流「あったか交流会」 ～地域の活性化と地域福祉への理解の促進に貢献～



自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 本郷3海佐）は、11月8日（土）塩野室地区社会福祉協議会が主催する『あったか交流会』において、自衛官募集相談員（繪面幹雄 氏）の支援を受け、広報活動を実施した。

あったか交流会は、地域に賑わいを創出するために地元住民が連携・協力し、『つながり』・『さずな』の構築を重要視するとともに、地元の各種団体や公民館事業との連携強化を図り、『世代を超えた住民同士の交流場所の提供』、『地域活性化と地域福祉への理解促進』を目的として開催されているもので、自衛隊の参加は今回で3回目をむかえた。

当初、日光市福祉協議会のキャラクターであるNikkkyの登場とともに、近隣の小林小学校ブラスバンド部及び小林中学校音楽部によるオープニングセレモニーが開始されると、その音楽に来場者は足を止め、学生たちが奏でる親和性の高い演奏を楽しんでいた。

自衛隊ブースでは、1/2トトラックの車両展示やブルーインパルスのタペストリー展示が家族連れや学生を中心に人気を集めており、来場者からは「めったに乘れるものではないから記念になります」「一緒に写真を撮ってください」「去年も一昨年も自衛隊ブースに来たけど、覚えていますか」「私、自衛隊好きなんです、頑張ってください」との嬉しい言葉をいただいた。また、制服試着体験をした来場者だけにお配りする「自衛隊缶バッジ」は大人気であり、「ブルーインパルス」や「10式戦車」と同様にP-1パイロットの宇都宮事務所長がデザインした「Pちゃん（P-1哨戒機）」・「Sちゃん（SK-60K）」・「Tちゃん（TH-135）」がコラボレーションしている缶バッジも好評で、自衛隊に対する理解を深める事ができた。

宇都宮募集案内所は、「今後も各関係協力団体と連携しながら、あらゆる機会を積極的に活用し、自衛隊の活動について理解を深めてもらうとともに、地域と一体となった採用広報活動を所員一丸となり推進していく」としている。

